PRESS RELEASE

報道関係者各位

2026年11月吉日
JLLリテールマネジメント株式会社
ユニモちはら台

【ユニモちはら台】
地域の環境課題「放置竹林」をクリスマスのシンボルへ再生
市原の竹と間伐材で創る「地域資源循環型」クリスマスツリー

～「まちの恵みが灯す、みんなの笑顔」をテーマに、資源調達から展示後の竹炭化までを一貫設計～

期間：2026年11月7日（土）～2026年12月25日（金）

JLLリテールマネジメント株式会社（本社：東京都千代田区　代表取締役社長：飯尾太一）が施設運営管理をするショッピングセンター「ユニモちはら台（所在地：千葉県市原市ちはら台西3-4）」では2026年11月7日（土）～12月25日（金）の期間、2025年より取り組んでいるサステナブルなクリスマスプロモーション「unimo CHRISTMAS 2026」を開催しています。

「地域資源の循環」をコンセプトとする本企画は、昨年に引き続き2年目を迎えました。本年は「まちの恵みが灯す、みんなの笑顔」をテーマに、地元・市原の里山から生まれた竹や間伐材を生かしたシンボルツリーが館内に登場し、展示開始以来、写真撮影や観賞を楽しむご家族連れなど多くの来館者で賑わっています。お買物の合間にご家族や大切な方と心温まるクリスマスのひとときをお楽しみいただくとともに、地域の環境保全に触れるきっかけを提供しています。



PRESS RELEASE

「NPO法人 竹もりの里」協力のもと、サステナブルなクリスマスツリーが完成

市原市の放置竹林に着目。
里山整備で伐採された竹をクリスマス装飾へ

市原市では、手入れが行き届かなくなった竹林の拡大が、里山の環境を守るうえでの課題の一つとなっています。
「里山を整備するために伐採した竹を、
地域のためにどう生かすか」
ユニモちはら台はこの課題に着目し、2025年のクリスマスに市内の里山で伐採された竹を主素材とするツリーを初めて展示しました。地域の方々が日常的に利用する商業施設でクリスマスツリーを楽しみながら、身近な里山で行われている整備活動や、そこから生まれる自然素材に触れていただく取り組みです。



※画像はイメージです。

2年目のクリスマスツリーは、
竹に加えて「間伐材」も活用

2年目となる本年は、NPO法人 竹もりの里の協力のもと、竹に加え里山の整備で伐採された「間伐材」も装飾に取り入れました。「まちの恵みが灯す、みんなの笑顔」をテーマに、竹や木材ならではの温もりある表情を生かしたツリーが館内を彩ります。ご家族や大切な人と楽しむクリスマスのシンボルとしてだけでなく、来館される方が身近な里山の課題や、地域資源の活用を知るきっかけをつくります。

展示を終えた竹は竹炭に。間伐材も次の使い道へ

クリスマスツリーに使用した竹や間伐材は、会期終了後も無駄なく生かすため、素材ごとに次の循環先を設けています。竹はNPO法人 竹もりの里を通じて竹炭に加工し、里山の土壌改良に役立てられる予定です。また、間伐材も形を変え新たな用途へと活用します。里山の整備で生まれた素材を館内装飾に生かし、役目を終えたあとも再び地域に還元する。素材の調達から展示の後の活用までを一貫したストーリーとして設計することで、資材廃棄の削減と地域資源の循環につなげています。

PRESS RELEASE

シンボルツリーのサステナブルポイント







●竹まり
管理が行き届かなくなった放置竹林から切り出された竹が、千葉県の職人の手仕事によって、ツリー飾りの「竹まり」として生まれ変わりました。細く割った竹ひごを美しい球形に編み込んで、クリスマスツリーの大きなオーナメントとして輝いています。

●竹あかり
竹にあけられた無数の穴から温かな光を放ち、下からツリーを優しく照らす「竹あかり」。展示で使用されたこれらの竹は、ツリー装飾としての役割を終えたあと「竹炭」となり土壌改善に役立てられます。

●ツリー土台・ツリーサイン・オブジェ
ツリーを支える土台と愛らしいトナカイのオブジェには、千葉県の山を守るために伐採された「間伐材」を使用しています。

【展示概要】
展示期間：2026年11月7日（土）～12月25日（金）
展示場所：1F リバーストリート中央

子どもたちにも、素材を生かすクリスマスのものづくりを

期間中は、地域の自然素材やエコ素材を使った体験型ワークショップ「クリスマスアート工房」を開催します。遊びながら「資源の循環」や「環境負荷の軽減」を楽しく学べるプログラムです。









●11月21日（土）
落花生の殻からできた紙「PSペーパー」で作る立体クリスマスオーナメント
千葉県の落花生の殻を再利用して作られたエコペーパー「PSペーパー」を使用。本来廃棄される殻を有効活用し、カラフルな立体オーナメントを制作します。
●11月23日（月祝）
千葉県の放置竹林で回収した竹を使って光り輝く「竹ランタン」
千葉県の放置竹林で回収した竹を使い、温かく光輝くオリジナルランタンを制作します。

●12月5日（土）：樹皮付き間伐材で作る「クリスマスオブジェ」
里山整備で生まれた樹皮付きの間伐材を再利用し、木の風合いを生かしたオブジェを作ります。

●12月19日（土）・20日（日）：間伐材で作る「巨大スノードーム」
間伐材を使用し、みんなで楽しめる巨大なスノードーム作りに挑戦します。
※各ワークショップの開催時間・参加条件・定位などの詳細は、施設ホームページにてご確認ください。

■unimo CHRISTMAS 2026概要
期間：2026年11月7日（土）～12月25日（金）
・市原市の竹・間伐材を再利用した装飾「サステナブルクリスマスツリー」 ・モノづくり体験イベント「クリスマスアート工房」
専用サイト：https://unimo-chiharadai.com/xmas2026/

■ユニモちはら台施設概要

所在地：〒290-0143 千葉県市原市ちはら台西3-4
運営・管理：JLLリテールマネジメント株式会社
売場面積：46,914.9㎡
営業時間：10:00～21:00（年中無休）
・レストラン：11:00～22:00
※一部店舗営業時間が異なります。
施設ホームページ：https://unimo-chiharadai.com/



＜本リリースに関するお問い合わせ＞
ユニモちはら台オペレーションセンター　担当：江口
TEL：0436-76-0003（受付時間：9:00～17:00）／FAX：0436-76-0007